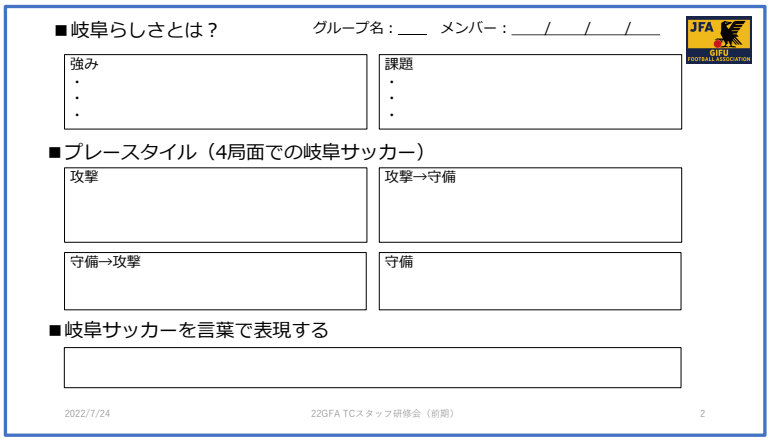
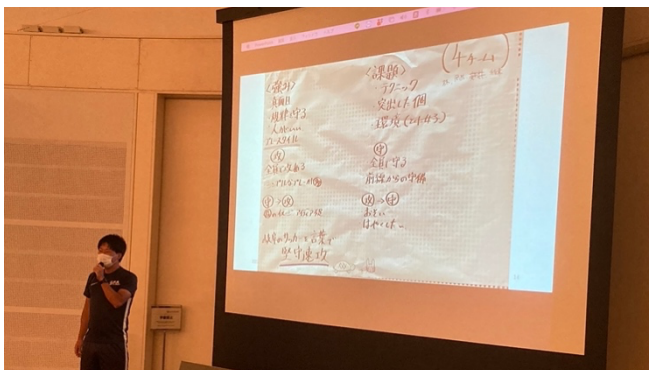
2022 前期　トレセンスタッフ研修会

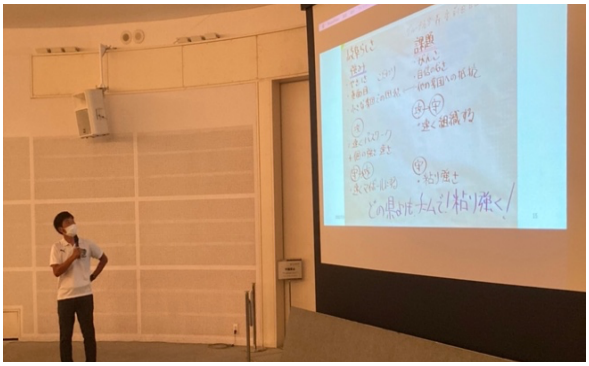
７月 24 日（日）今年度の前期トレセンスタッフ研修会を開催しました。
今回の研修会テーマは、「岐阜サッカーを考える！」です。
松永英機 FA コーチから、岐阜の強みや岐阜らしさをサッカーに生かすこと、「岐阜サッカーといえば〇〇」と、岐阜県のサッカーに関わる人たち誰もが共有できる価値観を持つことの大切さを伝えられました。今回の研修会は、トレセンスタッフの方々に、岐阜県らしさについて考え、共有する機会としました。第１部では、10 グループに分かれて、岐阜らしさについてディスカッションし、模造紙にまとめてグループごとに発表しました。第２部では、岐阜県らしさをサッカーに落とし込むためのトレーニングデモを松永 FA コーチが行い、その後スタッフ間で意見交換しました。
キーワードは、「みんなで岐阜のサッカーを作っていこう！」
活発な意見交換があり、有意義な研修会となりました。後期研修会は、２月 23 日（祝木）です。

《第１部》　@長良川国際会議場

１、オープニング
２、「岐阜サッカーを考える！」　グループディスカッション　　発表
３、プレーの原則
４、セーフガーディング







《第２部》　@島西グラウンド

１、指導実践　テーマ：Aggressive　Technique　Tempo　Tactics
（指導）松永 FA コーチ　（選手）長良高校サッカー部

２、振り返り

３、クロージング

《受講者の声》研修会終了後のアセスメントから抜粋

○今回のテーマを講義、指導実践を通じ熱い思いで語り表現していただき本当にありがとうございました。講義では寄り添いオープンマインドで丁寧に受け答えしていただく中で、自分自身も自地区 TC の年長指導者としてどう振舞うべきかを考えさせられました。指導実践は指導者の熱意が選手を動かす。アグレッシブにというコンセプトが十二分に表現された実践に感動しました。

○岐阜県のサッカーを良くしようとする熱意と行動、さらに風土分析やコンセプト設計から取り組もうとするアプローチの仕方が共感出来る。

○自分で岐阜県のサッカーについて考えたことがなかったので、なんとなくのイメージから明確なサッカーの在り方を描くことができるようになったことは、とても今後の子どもたちへの伝え方や指導内容について考えるきっかけとなった。

○岐阜県のサッカーについて考えることを通して、どのような指導をしていけばよいのかのヒントを得ることができました。また、午後の実技研修では、指導者としての在り方や声かけの熱量、言葉選びなど参考になるものが多くあり、自分なりに解釈して実施して行こうという気持ちになりました。

○選手の育成環境を変えるためには、指導者の指導の進化、意識の変化が必須だと参加して感じました。その為にも G-ACTION が確立され、全てのカテゴリー指導者で理解、共有することが急務であり、G-ACTION の理解、共有が岐阜県の指導者が向上するための明確なスタートラインになると思います。そして、それはユース部会、指導者養成部の岐阜県サッカーを支え、運営する側も同じなのではないでしょうか。G-ACTION を中心に一致団結し同じ目標に向かってオープンマインドで進むことができたら岐阜県のサッカーは大きく発展できると思います。TC においても G-ACTION が選考、指導の基準となれば岐阜県のスタンダードを獲得した選手が生み出され、4 種、３種、２種と受け渡されていく中から岐阜県らしい選手が J に現れてくれると思います。岐阜県らしいサッカー、岐阜県らしいサッカー選手、見て（育てて）みたいです。

○指導者がエリアや種別、年齢、性別をこえて岐阜の選手と岐阜のチーム(FC 岐阜)の事を考えられる場や時間があるといいのかなぁと思いました。

○岐阜のサッカーを考えるテーマの中でのディスカッションは、見方や思いで考えが違ったり、共感できたりと新鮮でした。岐阜県サッカー協会が掲げるフィロソフィーの G-ACTION の入り口に触れられることができ、今回はその一部分でしたが、具体的なトレーニングの中でどうコーチングで表現していくことが大切なのかをピッチで感じ実際目にすることができた経験はとても勉強になりました。トレーニングのオーガナイズやメニューではなく、コーチングを意識してくださいとのアナウンスがありましたが、コーチングを理解するうえでもオーガナイズやメニューが手元にあるとより分かりやすいかなと感じました。指導実践中にサポートスタッフによる実践の解説であったり、キモやこだわりみたいなものを全体発信していただけるとより理解や興味が高まるとも思いました。